

渋川北群馬感染症発生動向調査情報（週報）

2024年第18週（2024年4月29日～2024年5月5日）

令和6年5月9日

- ★ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告が増加しています。引き続き感染対策を行いましょ。
- ★ インフルエンザの報告は、減少しています。（今週：報告なし、先週：0.67）
- ★ 新型コロナウイルス感染症の報告は、減少しています。（今週：1.83、先週：3.17）



全数報告疾患

今週の報告なし

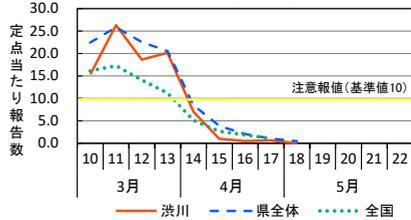
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎について

「溶連菌」とも呼ばれ、A群レンサ球菌による上気道の感染症です。2～5日の潜伏期間の後、突然38℃以上の発熱、咽頭発赤、咽頭痛、イチゴ状の舌などの症状が現れます。重症化すると、腎炎などを引き起こすことがあります。治療には抗生薬が有効で、決められた期間をしっかり飲みきることが重要です。

主な感染経路：飛まつ感染、接触感染

主な予防策：手洗い、咳エチケット、流行時にはマスクの着用

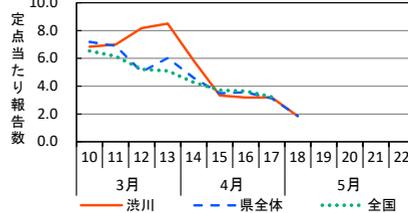
インフルエンザ



A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



新型コロナウイルス感染症



疾患別報告数一覧

上記グラフは、渋川北群馬地域の注目疾患について掲載しています。

インフルエンザ/COVID-19定点把握疾患及び小児科定点把握疾患			眼科定点把握疾患		
疾病名	定点当たり報告数		疾病名	定点当たり報告数	
	渋川	県全体		渋川	県全体
インフルエンザ	-	0.47	急性出血性結膜炎	-	-
新型コロナウイルス感染症	1.83	1.85	流行性角結膜炎	4.00	0.43
R Sウイルス感染症	1.25	1.30	基幹定点把握疾患		
咽頭結膜熱	1.50	0.84	疾病名	定点当たり報告数	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	4.25	2.76		渋川	県全体
感染性胃腸炎	1.75	2.48	細菌性髄膜炎	-	-
水痘	-	0.08	無菌性髄膜炎	-	-
手足口病	1.25	2.24	マイコプラズマ肺炎	-	0.22
伝染性紅斑	-	-	クラミジア肺炎	-	-
突発性発しん	0.75	0.40	感染性胃腸炎（ロタウイルス）	-	-
ヘルパンギーナ	1.25	0.32	インフルエンザ（入院患者）	-	-
流行性耳下腺炎	-	0.02	新型コロナウイルス感染症（入院患者）	1.00	2.11

感染症法に基づき実施されている感染症発生動向調査（群馬県）のデータを元に集計しています。

図表中の「渋川」は、渋川北群馬地域を指します。

※凡例 警報レベル 注意報レベル

より詳しい感染症情報は
群馬県ホームページで公開しています。



【お問合せ先】

渋川保健福祉事務所 保健係

E-mail : shibuhofuku@pref.gunma.lg.jp

TEL : 0279-22-4166